



墨田区中学校教育研究会視聴覚部会研究授業

【2003.1.22 於 墨田中学校】

## 道徳と社会科の間を授業する インタビューデータベース「世界の文化遺産」を使った授業

<1999 年日本社会科教育学会全国研究大会より>

三橋 秋彦 (墨田区立墨田中学校)

### コンピュータ・インタビューソフトの利用した授業

伝統文化財を保護する人々を扱った教材をCDROMで開発し、授業実践を試みた。道徳と社会科の境界領域を扱った授業実践である。文化財保護を様々な立場から同じ思いで支えている。立場の違いは、文化財保護に関する見え方の違いである。インタビューをデータベース化し、発表学習にも使えるようにプレゼンテーション機能も持ったコンピュータソフトである。コンピュータを利用した授業とは、個を生かす授業である。多様なインタビューから多様な生徒が感銘し、その感銘を表現することで他の生徒と共有しあう授業づくりを実践した。

方法の教科へ：コンピュータを利用した文化財保護の授業：  
法隆寺を支える人々」から文化財を保護する人々の心意気を学ぶ

### 倫理に関わる授業をコンピュータですること

これまで中学校社会科の授業は、倫理に関わる授業がほとんどない。文化財保護などのような価値判断を求める指導内容であっても、一方的に教師の価値観を押しつけてきた。道徳の指導法においても、道徳的判断力を求められる場面を設定し、みんなで考え、教師の意図する方向性で授業が収束されてきた。場合によっては、それさえもない授業が多かった。コンピュータを使って心の教育をするという概念は、社会科教育や道徳教育に一石を投じるのではないだろうか。コンピュータを利用することは、個別化を意味する。一斉授業をするのなら、プリント学習で充分である。時間や労働、財政といったコストのかかるコンピュータの授業で一斉授業をしても、プリント教材を利用した一斉授業を越えられない。コストに対する見返りが少ないのである。ましてや動画などの仕掛けをしたことが、教材としての意味を高めたとは思えない。コンピュータを利用した授業は、必ず個別化を目指した授業になるのである。

コンピュータを利用して授業を個別化する

授業を個別化するとはどのようなことか。例えば、社会規範を受け入れる生徒の側を尊重するということであろう。また、教材も多様性を具現化したような教材であるということである。



## CDROM 「世界遺産」の企画

この教材の原案は「法隆寺」であった。中学校の教材で、法隆寺を語るのに欠かせない人物がいる。西岡常一である。西岡常一は、宮大工の知恵の深さを著作物に著している。その知恵の深さを通して文化財保護の心情を培うことができる。しかしながら、市井の人物も文化財を守る思いは同じである。このことがソフトの開発の突破口である。

市井の人物も文化財を守る思いは同じであること

文化財は、様々な職能によって支えられている。それぞれが文化財に思いを持つことで、関わっているのである。それぞれの職能によって、文化財を支える人の知恵や経験は違ってくる。生徒の生い立ちが多様であるなら、多様な人々の心情の中に共感を求めるものであろう。そこに授業が個別化されていく必然性がある。



**主題名** : 「法隆寺を支える人々」

**本時のねらい** :

優れた伝統文化の継承する人々の生き方にふれ、共感する中で自らの生き方を振り返る

**授業日時** : 平成 15年 1月 22日 2時 ~ 2時 50分

**本時の授業クラス** : 3年 A組 (26名 ただし推薦入試のため 8名欠席)

**授業展開** :

	教師の活動	生徒の活動
05	[ 導 入 ] 修学旅行での体験をふまえ、法隆寺の文化財としての価値についてふれる ・文化財を支える人々に出会いを期待させる	授業の課題を把握する
25	[ 展 開 ] ・世界遺産「CDROM」を操作してみせる インタビューからあなたが共感できる法隆寺を支える人物の心情を探そう	・ソフトの操作方法を知る
	・ソフトの操作について助言する (留意点:生徒の意見には共感的に対応する)	・世界遺産「CDROM」で法隆寺を支える人々のインタビューを検索する。 ・共感したインタビューを見つける
	共感した人物についてプレゼンテーションを作ろう	
	発表用プレゼンテーションの作り方について例示する ・プレゼンテーション作成の操作方法を助言する ・期間巡視の中で発表候補を選ぶ	発表用プレゼンテーションの作り方を理解する ・自分の発表用プレゼンテーションをつくる



	共感した人物について発表しよう	
45	発表意志のある生徒から発表させる 特徴のあるプレゼンテーションを作った生徒 に発表させる	発表する 発表を視聴する
	発表から共感したことや自分の意見をレポートしよう	
50	[まとめ]  発表を受けて自分なりの意見や感想を レポートさせる	今日の授業を通した自分なりの考えを レポートし、自分の考えをまとめていく

**評価：**

- 1 法隆寺を支える人々の文化財保護にかける心意気に共感できたか
- 2 インタビューに共感した心情を表現することができたか
- 3 発表者の心情を理解することができたか
- 4 文化財保護の意義を自分で説明できるようになったか。



## 【参考文献】

- 滝田誠一郎 (1998) 「『ティーチャー』から『エドゥケーター』へ」『中央公論 4月号』(中央公論)
- 三橋秋彦 (1992) 情報化社会と社会科の指導」『社会科教室 1992No.313』(中教出版)
- 三橋秋彦 (1992) 「PCグループを使った授業」『地理 1992No.87-9』(古今書院)
- 三橋秋彦 (1992) 「コンピュータゲーム『バランス・オブ・ザ・プラネット』を使った授業実践〜」『現代教育科学 11月号No.423』(明治図書)
- 三橋秋彦 (1992) 加点主義評価を入れた授業づくり 契約についての学習を通して」『社会科教育 1992No.366』(明図)
- 三橋秋彦 (1993) 地球の環境問題」『コンピュータ活用のための実践事例アイデア集Vol.2』(日本教育工学振興会)
- 三橋秋彦 (1993) 学校にコンピュータがやってきた！お付き合いのABCから使いこなすまで〜社会科の視点から〜」『授業研究Vol.31No.403』(明治図書)
- 三橋秋彦 (1993) 生徒自ら作る課題探求学習の指導〜社会科地理的分野の下限におけるコンピュータ教室の利用〜」『視聴覚教育 平成5年1月号』
- 三橋秋彦 (1993) 社会科で新しい学力観が見えてきた」『NEW教育とマイコン10月号』(学研)
- 三橋秋彦 (1993) 見学 調査の活用を図る授業の展開」茂木喬編 新学習指導要領中学校社会科公民のキーワード6資料の収集 選択 活用を図る公民学習』(明治図書)
- 三橋秋彦 (1993) シミュレーションゲームによる環境教育〜社会科地理的分野公民的分野におけるコンピュータを利用した〜環境教育の取り組み〜」『AV SCIENCE No.209』(東芝教育技法研究会)
- 三橋秋彦 (1993) 中学校社会科におけるシミュレーションゲームの活用〜コンピュータゲームを使った授業実践〜」『教科教育』(学校図書)
- 三橋秋彦 (1994) 企業と生産」茂木喬編 中学校社会科公民的分野指導細案集』(明治図書)
- 三橋秋彦 (1994) 発表学習の学習法 ここがポイント」『社会科教育 No199』(明治図書)
- 三橋秋彦 (1994) 『Ecology of the Earth』『Operation Success stories』(Departement de l'instruction publique)
- 三橋秋彦 (1994) 「コミュニケーションゲームによる社会認識の形成 LANを利用したゲーム教材の展開」第20回全日本教育工学研究協議会全国大会 第8回コンピュータ教育研究協議会全国大会 資料集』
- 三橋秋彦 (1994) ゲームソフトを授業で使う」『パソコン活用大百科 1995年版』(実教出版)
- 三橋秋彦 (1994) 「コンピュータゲームを利用した授業」山口幸男 (1994) 社会科地理教育におけるシミュレーション教材の開発に関する研究』(平成4・5年度科学研究費補助金(一般研究C)研究成果報告書)
- 三橋秋彦 (1996) 「コンピュータ活用の力が育つ学習技能」『社会科教育 6月号No.423.1996』(明治図書)
- 三橋秋彦 (1996) 「CITYHALLの支援による調べ学習・シミュレーション学習〜ネットワーク型シミュレーションソフトの活用」『IMATE1996 No121』(才能教育開発財団)
- 三橋秋彦 (1997) 得意な人と苦手な人とは勉強方法が違う」『授業研究 21 1998 4月号』(明治図書)
- 三橋秋彦 (1998) 「コンピュータでないとできない授業を提案！」『IMATE 1998 No129』(才能教育開発財団)
- 三橋秋彦 (1998) 「ストップモーションを利用した授業づくり」『学校放送』(日本放送協会出版会)
- 三橋秋彦 (1998) 社会科教育をめぐる」『視聴覚教育』(視聴覚教育協会)
- 三橋秋彦 (1998) 情報化社会の地理を耕す」『社会科教育別冊』(明治図書)
- 三橋秋彦 (1998) 教師の企画力を培う実践授業」『学校運営研究』(明治図書)



- 三橋秋彦 (1999) 教科でのメディアリテラシー 社会科との関連で」『視聴覚教育』(視聴覚教育教会)
- 三橋秋彦 (1999) 交流型の宿題レシビ」『社会科教育 7月号 No.476.1999』(明治図書)
- 三橋秋彦 (1999) 地域の人材を生かした総合学習の実際」『総合的な学習の実践事例と解説 追録』(第一法規)
- 三橋秋彦 (2000) ふれあい学習 実践から生まれた総合的学習 1」『放送教育 7月号』(日本放送協会出版会)
- 三橋秋彦 (2000) ふれあい学習 実践から生まれた総合的学習 2」『放送教育 8月号』(日本放送協会出版会)
- 三橋秋彦 (2000) ふれあい学習 実践から生まれた総合的学習 3」『放送教育 9月号』(日本放送協会出版会)
- 三橋秋彦 (2000) 文脈知を追求する」『総合的な学習 8月号』(明治図書)
- 三橋秋彦 (2000) 固有な知の体系を評価する」『学級経営 8月号』(明治図書)
- 三橋秋彦 (2000) 出発時と今 カリキュラムのどこが変わったか」『総合的な学習 10月号』(明治図書)
- 三橋秋彦 (2000) 地域の人材を生かす総合学習」『教職研修 3月増刊号』(教育開発研究所)
- 三橋秋彦 (2000) 校内研究を活性化させるための工夫」『校内研修の実践事例と解説』(第一法規)
- 三橋秋彦 (2000) 中学校における情報教育実践」『教育システム情報学会誌 Vol.17 No.2』
- 三橋秋彦 (2001) 学校にとっての地域は地縁+知縁」仙崎武監 修『中学生の進路力を育てる総合的な生き方の学習プラン』(実業之日本社)
- 三橋秋彦(2001) 地域とともに生きる力を育てる 『ふれあい学習』- 総合的な学習で深まる進路指導の実際」『中央教育資料 平成 13 年 8月号』(文部科学省)
- 三橋秋彦 (2001) 特別活動と総合的な学習」『IMATE1998No129』(才能教育開発財団)
- 三橋秋彦 (2001) コーディネイトしたなかでは気ままです」『総合的学習を創る 3月号』(明治図書)
- 三橋秋彦(2001) 地域 PTA を巻き込んだ五年間の取り組み」『中学教育 3月号』(小学館)
- 三橋秋彦(2001) ふれあい学習とボランティア活動」『社会科教室 26』(日本文教出版)
- 三橋秋彦(2001) 墨田中実践と社会科の授業づくり」『Research 総合的な学習と社会科の接点』(清水書院)
- 山口幸男 松岡路秀・三橋秋彦 (1996) 『中学校社会科地理におけるシミュレーション教材の開発ー環境教育と関わってー』『教育研究情報VOL.28』((財)日本教育科学研究所)



### 【墨田の学校メーリングリスト】

アドレス [sumida-school@cec.or.jp](mailto:sumida-school@cec.or.jp)  
内 容 墨田区の学校で、コンピュータ利用やインターネットの利用を中心に学校現場に関わり合う方々のためのメーリングリストです  
参加資格 墨田区の教育に係わる方、または支援していただける方でしたらどなたでも  
参加方法 管理者 ( [akihiko@a1.mbn.or.jp](mailto:akihiko@a1.mbn.or.jp) ) まで所属と連絡先、お名前をお知らせ下さい。

### 【とうきょうED(東京の教育メーリングリスト)】

アドレス [tokyo-school@cec.or.jp](mailto:tokyo-school@cec.or.jp)  
内 容 東京都の学校で、コンピュータ利用やインターネットの利用を中心に学校現場に関わり合う方々のためのメーリングリストです  
参加資格 東京の教育に係わる方、または支援していただける方でしたらどなたでも  
参加方法 管理者 ( [akihiko@a1.mbn.or.jp](mailto:akihiko@a1.mbn.or.jp) ) まで所属と連絡先、お名前をお知らせ下さい。  
参照情報 <http://tokyo-ed.net/>

### 【進路指導メーリングリスト】

アドレス [sinro@cec.or.jp](mailto:sinro@cec.or.jp)  
内 容 小学校から大学まで、およそ進路指導に係わることはこのメーリングリストで扱います。進路指導に熱心な先生方と教材開発の方々とが相互に協働していくようになれば、このメーリングリストの役割を果たしたことになると思います。  
参加資格 進路指導に係わっている方や関心のある方、先生方を支援していただける方々など  
参加方法 管理者 ( [akihiko@a1.mbn.or.jp](mailto:akihiko@a1.mbn.or.jp) ) まで所属と連絡先、お名前をお知らせ下さい。  
参照情報 <http://sinro.net/>

### 【社会科教育メーリングリスト】

アドレス [social-studies@cec.or.jp](mailto:social-studies@cec.or.jp)  
内 容 社会科教育MLでは、社会科の授業の報告、教材などの情報交換、研究会 学会などの案内や報告、社会科に関する疑問の解決などを電子メールを通して行います。  
参加資格 社会科教育に係わる方、社会科教育に興味ある方はどなたでも。  
参加方法 管理者 ( [akihiko@a1.mbn.or.jp](mailto:akihiko@a1.mbn.or.jp) ) まで所属と連絡先、お名前をお知らせ下さい。  
参照情報 <http://shakaika.net/>

### 【日本シミュレーション&ゲーミング学会授業と教材研究部会メーリングリスト】

アドレス [jyugyo@cec.or.jp](mailto:jyugyo@cec.or.jp)  
内 容 日本シミュレーション&ゲーミング学会授業と教材部会のメーリングリストです。このメーリングリストの参加によって部会のメンバーとなります。シミュレーション教材やシミュレーションゲーム教材にこだわる全ての方に参加していただき、よりよい教材が生み出され、よりよい授業がされることを目的にします。このメーリングリストでシミュレーション教材やシミュレーションゲーム教材の開発やそれらを利用した授業の設計、授業観、教材観などについて情報交換や意見交流をします。  
参加資格 ミュレーション教材やゲーム教材にこだわる人ならだれでも。  
参加方法 管理人 ( [akihiko@a1.mbn.or.jp](mailto:akihiko@a1.mbn.or.jp) ) に連絡をしていただければ登録します。  
参照情報 <http://jyugyo.com/>